

# 「取組みの成果」のつぼみ、 開花する年に



平成30年2月15日（木）に行われた町議会本会議において、中崎町長が平成30年度の町政運営の基本的な考え方となる施政方針を述べました。

問政策課 内線205

## 暮らしを守る 防災・減災の取組み

災害時の情報伝達手段の整備として、全国瞬時警報システム（Jアラート）の新型受信機を導入し、情報内容の拡充と迅速化を図ります。受信した内容は、メール配信サービスと連携し、即時に配信できるように整備します。

また、防災情報の取得手段として有用な防災ラジオについて、国の実証実験結果等をもとに、町に適した手段や方法を検討します。

## 町に活力を与える農業へ 相乗効果を生み出す取組み

農地の有効活用推進のため、農地を活用する方に対し、遊休農地整備の助成制度を創設します。また、町内外からの新規就農希望者に対し、積極的な農地貸借の支援を継続します。

農業政策は、他の分野と連携することでの相乗効果を生み出すため、健康と農業の関係に着目した取組みを進めます。農業に携わる方は平均寿命や健康寿命が長いと言われています。そのため、「100歳まで楽しめる農業」という取組みを推進し、町のテーマである「健康寿命の延伸」につなげていきます。



## 観光を町の魅力を知る きっかけに

大磯港と周辺エリアを国の制度である「みなとオアシス」への登録に向け整備を進めます。地域交流・地域農水産物等の販売・飲食などを担う「賑わい創出施設」と「漁業協同組合施設」を併せた「賑わい交流施設」の整備を進めます。

町を観光等で訪れる交流人口の増加は、定住人口の安定化の第一歩です。町のブランドメッセージである「さあ、大磯で君の物語をはじめよう」とともに、町内外に魅力を発信します。

平成30年度は、町長就任から2期目の最後の年となります。これまで前進させてきた様々な事業の取組みの成果を「開花」させていく年とします。

引き続き、安心して暮らすことのできる町にするため、「子育て」、「教育」、「健康」、「防災・減災」の施策と、町に活力や賑わいを与える「観光」、「農業」の施策の6つを重点項目として取り組み、「交流人口の増加」と「定住人口の安定化」をめざし取り組んでまいります。

## 子育てで世代に寄り添い、 子どもの笑顔がかがやく町に

平成30年4月に、県内初となる、公私連携幼保連携型認定こども園「サンキッズ国府」が開園します。待機児童対策に取り組みとともに、多様化する子育て世代のニーズに対応します。

公立幼稚園においても、県内初となる「満3歳児保育」を試行し、より一層、子育て支援を充実させます。

さらに、東部地区において子育て支援センターの整備を進め、若い世代の希望をかなえる、多様な子育て支援サービスを提供できるよう努めます。

## 教育は「こころ」と 「からだ」を育む土壌

平成29年度は中学校給食のあり方について向き合い続けました。現在は、休止していますが、温かくておいしい給食を提供することをめざし、様々な方法を多角的に検討します。

教員の働き方改革を推進する一助として、校務支援システムを導入し、教員が子どもたちと向き合う時間や、研修機会の確保に取り組みます。

また、旧横溝千鶴子邸を改修し「大磯町教育研究所」の移転に向けた準備を進めます。

## 健康寿命の延伸に向けて 前進し続ける健康の取組み

「おあしす事業」は、8年目を迎え、延べ1,330回、2万2,500人の参加がありました。これまで継続してきた「ロコモイル」「アンチロコモ教室」が最終年を迎えるにあたり、研究の成果をまとめ、事業を検証し、次のステップへと進めます。

スポーツにおいては、新たに全国的な取組みである住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」に参加します。運動がより身近なものとなるよう取り組みます。



## 「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」の実現のために

### 平成30年度の主な事業

町の指針である、第四次総合計画（平成18年度～平成32年度）の5つの施策の大綱に基づき、主な事業を紹介します。

#### 1 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり

新 全国瞬時警報システム整備事業	270万円
新 高規格救急車購入事業	3,603万円
新 認知症総合支援事業【介護保険事業】	66万円
継 (仮称)東部子育て支援センター整備事業	1,943万円
子育て・親育ち支援事業(子ども発達相談員の配置など)	836万円
妊娠出産前支援事業	1,539万円
健康増進事業(おあしす24健康おおいそなど)	380万円
スポーツ健康イベント事業(チャレンジデーなど)	158万円

#### 2 町民の力や知恵が集まるまちづくり

オリンピック・パラリンピック交流事業	33万円
町村情報システム共同運営事業(県内14町村による共同化)	6,320万円
地域会館整備事業	3,776万円
消防専用無線維持管理事業	
[消防指令センター共同運営(平塚市・大磯町・二宮町)]	921万円

#### 3 人と自然が共生する循環のまちづくり

新 リサイクルセンター運営事務事業	1億5,070万円
継 大磯港みなとオアシス推進事業	7,352万円
再生エネルギー等推進事業	174万円
ごみの分別及び減量化推進事業	309万円
ごみ処理広域化運営事業	
(環境事業センター・リサイクルプラザ負担金など)	9,662万円

#### 4 心豊かな人を育てるまちづくり

新 教育研究所整備事業	392万円
新 町立小中学校空調設備借上事業 ※	-万円
新 中学校給食調査事業	1,080万円
子ども・子育て支援新制度運営事業(病後児保育の実施など)	4億5,500万円
学校職員校務用コンピュータ整備事業	1,656万円
教育振興推進事業(小学校)(非常勤講師の拡充など)	1,083万円
文化財保護事業(相模国府祭調査など)	920万円
旧吉田茂邸運営事務事業	1,894万円

#### 5 個性と魅力と活力のあるまちづくり

新 林業振興事業(林地台帳整備・自伐型林業)	327万円
新 観光案内板整備事業	1,760万円
農業振興普及事業	98万円
農地活用・鳥獣対策事業	616万円
商工業振興対策事業	2,819万円
新たな観光の核づくり推進事業	450万円
橋りょう長寿命化修繕事業	1億1,666万円
国府本郷西小磯1号線整備事業	6,545万円
歴史的建造物等整備事業	812万円

※町立小中学校空調設備借上事業は、平成30年度から平成41年度の複数年度で実施する事業で、平成30年度は歳出予算の計上はありません。